

## 精進と飛躍を誓い

### 剣道越年稽古



▲熱気に満ちた稽古の様子

恒例の剣道越年稽古が、大晦日から元旦にかけて、仁多中学校武道場において行われました。仁多郡剣道連盟が主催するこの稽古会には、町内の小・中学校、高校の剣道部員や学生、社会人など約五十人の剣士が参加しました。凍てつく寒さの中、午後十一時から始まった稽古会では、基本動作から掛り稽古など深夜にも関わらず熱心な指導が行われ、参加者は白い息を吐きながら懸命に竹刀を振りまわしました。年越しの際には参加者全員が正座で黙想。新年を迎える神聖な空気が流れる中、更なる精進と飛躍を誓いました。



▲黙想して新年を待つ剣士たち

## 町の発展を願い気持ち新たに 平成26年奥出雲町新年賀詞交換会



▲多くの人が出席した交換会

新年の幕開けを祝う「奥出雲町新年賀詞交換会」が一月六日、横田コミュニティセンターで開催されました。会には、井上町長をはじめ、議員、自治会長、町内企業や各種団体の代表者など約百三十人が出席しました。はじめに、井上町長から年頭のあいさつがあり、来賓を代表して糸原徳康県議会議員からあいさつが述べられました。植田良二商工会長の乾杯で会が始まると、出席者は新年のあいさつを交わし互いに懇親を深め合い、一年の始めに気持ちを新たにし、町の更なる発展に取り組むことを誓いました。

## 心新たに防災を誓う

### 奥出雲町消防出初式



▲力強く分列行進

新春の伝統行事である奥出雲町消防出初式が一月十一日、町民体育館において、安部正教団長をはじめ、新入団員十人を含む五百二十人の団員が出動し盛大に行われました。式典では、各種表彰のほか、退団される十五人の方に、永年の御功労に対して感謝状が贈られました。団員一同が会する厳粛な雰囲気の中、安部団長から「自らの地域は自らで守る郷土愛の精神で、全団員の

更なる地域防災力向上への貢献に期待する。また、使命感と責任感を持って予防消防を推進し、郷土を守る消防人として誇りを持って活動に取り組んでほしい」と訓示が述べられ、団員の気持ちを一つにしました。式典終了後には、役場仁多庁舎前で多くの住民が見守る中、ラッパ隊と女性消防団員の太鼓に合わせて、全団員が四十八台の消防車両とともに規律正しく力強い分列行進を披露。最後に、斐伊川護岸道路で一斉放水が行われ、空高く舞い上がる十本のアーチに無火災を祈りました。なお、今年十一月に東京都で行われる全国大会の小型ポンプの部に、阿井分団の出場が決定しています。

ラッパ隊と女性消防団の鼓笛隊



▶無火災を祈って一斉放水



▶ラッパ隊と女性消防団の鼓笛隊

## 渾身の演奏で新年を迎える

### 仁多乃炎太鼓年越し演奏

新年を迎える仁多乃炎太鼓年越し太鼓演奏会が、大晦日から元旦にかけて、三成の仁多土木事業所前の広場において行われました。

来る年が町民の皆様にとって希望に満ちた年となることを願い、平成5年から始められたこの演奏会は、大晦日の恒例イベントとなっています。

かがり火が灯された幻想的な雰囲気の会場で、子どもたちで構成される仁多乃炎太鼓の演奏からスタート。身に染みる寒さの中、仁多乃炎太鼓のメンバーにより「SAZARE」などおなじみの曲が渾身の演奏で披露されました。

前年と違い雪のない会場で年越しの瞬間を迎え、周囲には新年を祝う演奏が鳴り響いていました。



▲かがり火に照らされ力強く演奏



▲真剣な表情で札とにらめっこ

百人一首の会「山里会」（千原富美子代表）と横田公民館の共催による恒例の新春百人一首大会が、一月七日、横田コミュニティセンターで行われました。この日は山里会会員を始め、町内の百人一首クラブや放課後児童クラブに通う小学生、かるた愛好者など約八十人が参加。会場を埋め尽くし賑やかに開催されました。開会式では、検定合格者の表彰式があり、三名の児童に鳥根県かるた協会の級位認定書が手渡されました。続いて、代表の児童数名

新春恒例の腕比べ！  
百人一首大会

が暗記した札を一首ずつ読み上げると、会場から大きな拍手が送られました。試合が始まると、真剣な眼差しで歌と札に集中。上の句が読み上げられると素早く札を取り合い、一喜一憂する姿があらこちらに見え、会場は静粛な中にも白熱した雰囲気にも包まれました。また、初めて参加する児童も多く、山里会員の指導を受けながら一生懸命に札を探していました。参加者にとって、互いに交流を深めるとともに、日本古来の伝統文化に慣れ親しむ良い機会となりました。



▲真剣な表情で札とにらめっこ

また、初めて参加する児童も多く、山里会員の指導を受けながら一生懸命に札を探していました。参加者にとって、互いに交流を深めるとともに、日本古来の伝統文化に慣れ親しむ良い機会となりました。